

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2018-164700(P2018-164700A)

【公開日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-041

【出願番号】特願2017-63948(P2017-63948)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月5日(2018.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枠体に取り付けられる遊技盤と、
前記遊技盤に設けられ、基板を収容する盤側基板ボックスと、
遊技球を貯留することができる球タンクと、
該球タンクに貯留した遊技球を下流側へ流下することができるタンクレールと、
一側辺が軸支されて開閉自在に取り付けられる可動部材と、
を備える遊技機であって、
前記タンクレールには、流下する遊技球によって生ずる異物が落下することができる放
出孔が形成され、
前記可動部材には、前方へ突出する突出片が設けられ、
前記遊技盤が前記枠体に取り付けられた状態にて、前記可動部材が当該遊技機の背面の
一部を覆う閉鎖状態にあるときには、前記突出片が前記放出孔の下方に入り込むと共に、
当該突出片の下方に前記盤側基板ボックスが位置し、
前記突出片は、前記放出孔から落下する異物を当該突出片の上面で受けて、当該突出片
よりも下方へ落下することを抑制し得るものであり、
さらに、前記突出片を含む前記可動部材は、透過性を有する部材で構成されてなり、
さらに、前記盤側基板ボックスは、直上に前記放出孔が位置しない箇所を有するように
、前記タンクレールと前後方向にずれて配置される
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、球タンクからの遊技球を下流側へ導くタンクレールを備える遊技機が提案さ
れている（例えば、特許文献 1）。このタンクレールには、遊技球によって生ずる異物を
排出する孔が設けられていた。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2013-215440号公報(図2)

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来の構成では、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルの対策が不十分であった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルに新規な対策を施した遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、
枠体に取り付けられる遊技盤と、
前記遊技盤に設けられ、基板を収容する盤側基板ボックスと、
遊技球を貯留することができる球タンクと、
該球タンクに貯留した遊技球を下流側へ流下することができるタンクレールと、
一側辺が軸支されて開閉自在に取り付けられる可動部材と、
を備える遊技機であって、
前記タンクレールには、流下する遊技球によって生ずる異物が落下することができる放出孔が形成され、
前記可動部材には、前方へ突出する突出片が設けられ、
前記遊技盤が前記枠体に取り付けられた状態にて、前記可動部材が当該遊技機の背面の一部を覆う閉鎖状態にあるときには、前記突出片が前記放出孔の下方に入り込むと共に、当該突出片の下方に前記盤側基板ボックスが位置し、
前記突出片は、前記放出孔から落下する異物を当該突出片の上面で受けて、当該突出片よりも下方へ落下することを抑制し得るものであり、
さらに、前記突出片を含む前記可動部材は、透過性を有する部材で構成されてなり、
さらに、前記盤側基板ボックスは、直上に前記放出孔が位置しない箇所を有するように、前記タンクレールと前後方向にずれて配置される
ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 0 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 1 6】

本発明の遊技機においては、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルを防止することができる。